

# 浜辺に漂着したゴミをみんなで回収



大房岬ワークキャンプキャンプで草刈りと海岸清掃 右下はきれいになった砂浜です

## 千葉 YMCA ニュースボード

2020年10月1日 第257号

[www.ymcajapan.org/chiba/](http://www.ymcajapan.org/chiba/)

### ワークキャンプを実施

「ジュニアリーダーワークキャンプ」の報告です。昨年度から実施している「ジュニアリーダー育成プロジェクト」ですが、昨年1年間で夏・冬キャンプの引率に延べ20名以上の中学生・高校生が参加してくれました。多くの中高生が1回だけでなく、複数回来てくれているのも嬉しい反応でした。

今年度は新型コロナウイルス感染症により、引率の大学生も生活面を含め新生活様式・感染症対策を徹底し、本番のキャンプに望むこととし、夏キャンプでの中学生～高校生のジュニアリーダー募集は見送りました。

そこで今年度は小学6年生以上の子どもたちと現役・OBOGリーダーと一緒にボランティアワークを行う新プログラムを実施しました。

[上の写真はその様子です。]

場所は大房岬国定公園内、大房岬自然の家を拠点に、1日目は草刈り、2日目は海岸清掃を実施。ワーク以外の時間はみんなで一緒に海で遊んだり、散歩をしたりし、夜は花火も楽しみました。

大房岬という素晴らしい自然環境の中で、台風被害の倒木などを目の当たりにし、自然の美しさと怖さを感じました。また2日目の海岸清掃では、浜辺に漂着した家庭ゴミなどをみんなで回収し、環境破壊の一端を垣間見ました。1時間に満たない時間・わずか300M程の距離でゴミ袋12個分のゴミを回収しました。

初めての試みでしたが、通常のキャンプとは違う一面も沢山見られて、新しい可能性を感じた時間となりました。(報告と写真 小林和弘)

### ◆チャリティーラン(バーチャル)

秋開催は見送りとし、来年2月ころバーチャルの形で開催する(各参加者が自宅周辺などで走り、結果を報告したものを集計する)計画を立案中です。

### ◆ネイチャーキャンプの予告

文部科学省後援事業として全国各地のYMCAで「Nature For Kidsプロジェクト」を展開する事となりました。

千葉YMCAでは小学生を対象としたネイチャーキャンプを3期間用意し、千葉県内の小学生を招待、1泊2日の宿泊プログラムを実施いたします。(10、11月の土日、千葉市少年自然の家で。チラシ参照、お問い合わせを。)

### ◆自然の家「秋わい」について

千葉市少年自然の家は秋のわいわいフェスティバル(10月25日)を開催します。今年は感染症予防のため、参加予約申し込みをお願いします。体験プログラム(定員制・有料または無料)、地元野菜の販売があります。詳細は[www.chiba-shizen.jp](http://www.chiba-shizen.jp)のイベント情報をご覧ください。この行事のためのボランティアを募集しています。

○千葉センター 043-222-3811

○船橋地域デポ 047-425-6366

○千葉市少年自然の家  
0475-35-1131

ニュースボード編集: 青木一芳(理事)

メール [kkaoki@myad.jp](mailto:kkaoki@myad.jp)